

「ケア労働者の賃上げ」は本当か？ 保育・介護の現場から

- 6月3日に発表された「女性版骨太方針2022」では、「女性の経済的自立」を「新しい資本主義」の中核と位置付けています。続いて6月7日発表の「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」では、介護・保育・看護等での収入を3%程度引き上げる措置を講じたことが実績とされています。ただ、現場からは「全然足りない」という声のほか、そもそも一線の労働者に届いていない、という声まで聞こえてきます。
- 岸田政権が打ち出したこのような「ケア労働者の賃上げ」政策は、本当に一線の待遇を改善したのでしょうか。春闘の結果などをもとに、当事者たちが検証します。

●日時：2022年 **7月31日** (日)

14:00～16:00

●場所：オンライン開催

●参加費：無料です。

●申し込み：会員・購読会員・非会員のどなたでも参加できますが、必ず事前に申し込みをお願いします。

申込締切 = 7月26日 (火)

●事前申込は次の方法でお申し込みください。

・次のURLにアクセス

<https://forms.gle/meYdYj3JQwBumKju5>

・右のQRコードから

・次のメールアドレス

ssww@ssww.jp

●お申し込みいただいた方には、事前に参加のためのURLと資料をお送りします。



【プログラム】

★「保育労働者の処遇改善は国民的課題」

澤村 直さん

(全国福祉保育労働組合書記長)

★「ホームヘルパー崩壊の危機と賃上げの課題」

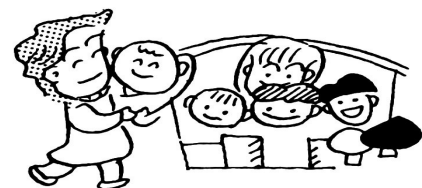
伊藤みどりさん

(ホームヘルパー・ホームヘルパー国家賠償訴訟原告)

★司会

竹信三恵子さん

(女性労働問題研究会代表)



女性労働問題研究会 (SSWW)

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
事務局：(株)毎日学術フォーラム Tel 03-6267-4550 Fax 03-6267-4555
E-mail maf-ssww@mynavi.jp HP <http://ssww.jp/>